

所属 英米学科	職名 教授	氏名 辻本庸子	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)
---------	-------	---------	------------------------

I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2008	1年の講読においては、文化の衝突をテーマにし、それに関するアメリカ小説をテキストとして読むこと、それから同テーマを扱った映画と、ノンフィクションのDVDを見、レポートを出すことを、通常の授業内容に加え課題とした。			
	2007-2011	また講読の授業に於いては、全てのクラス、全ての年度において、精読の時間とグループになってディスカッションする時間とをっている。また作品によってはブックレポートの質問用紙を作成し、それを回答してもらう形をとった。			
	2007	作文の授業において、インターネットを用い、アメリカのジョージア大学との交流を行った。こちらからは日本映画を翻訳して送り、アメリカの学生の書いた作文に対し、わたしの学生がサイト上にコメントを書き入れるということをした。どちらの学生もインターネットを使ったこのような共同作業を楽しんでいたと思う。今後もこのような形をとることで、大きな刺激をクラスにおいても与えることが可能になると思う。			
	2010	アメリカにおいてピューリッツァー賞を獲得した作家の短編を読んだ。			
2 作成した教科書、教材、参考書	2007-2011	講義に於いては毎回ハンドアウトを前の週に作成して配布し、講義のときにはそれをあらかじめ読んできてもらうようにしている。また2011年には「英語圏文学特殊講義」を行い、講義とともに、関連する映画を選び、学生に発表を割り当てた。講義をただ聴くだけでなく、発表をすることによって、講義に積極的にかかわることができるような試みであった。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2010	2010年度はアメリカの作家マーク・トウェインの死後100年にあたり、各種のイベントがアメリカでも日本でも開かれた。そこで3年の講読ではトウェインの『トム・ソーヤの冒険』を読み10月には来日されたカリフォルニア大学バークレイ校のロバート・ハースト先生に講演をしていただいた。授業だけでなく、一流のトウェイン研究者の話聞き、「質疑応答を活発に行えたことはとても有意義だったと思う。			
4 その他教育活動上特記すべき事項	2009	サンフランシスコ州立大学のマッケイン先生に翻訳のこつを教えてくださいと講演会を行っていただいた。そのお世話をする。			
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数

著書					
『<移動>の風景-英米文学・文化のエスキス』	共著	2007年	世界思想社	御輿哲也編著	102-126
『語り明かすアメリカ古典文学12』	共著	2007年	南雲堂	アメリカ文学の古典を 読む会編	178-184
『神話のスパイラル-アメリカ文学と銃』	共著	2007年	英宝社	花岡秀編	147-184
「アンクル・リーマス博物館」『北米の小さな博物館： 「知」の世界遺産』	共著	2009年	彩流社	北米エスニシティ研究 会編	160-169
『二〇世紀アメリカ文学のポリティクス』	共著	2010年	世界思想社	貴志雅之編	57-88
論文					
「銃声のとどろき：アメリカ女性作家と銃」	単著	2008年	『神戸外大論叢』（第59巻第6号）	神戸市外国語大学研究 会	67-86
「エートスの回復-『やつは死んだのか?』」	単著	2010年	『マーク・トウェインー研究と批評』	日本マーク・トウェイン 協会	24-32
「耳でなく目によって：ガートルード・スタイン」	単著	2011年	神戸市外国語大学 外国学研究 81	神戸市外国語大学外国 学研究所	19-25
翻訳					
「やつは死にしまった?」	単著	2010年	『三田文学』no. 103 秋期号	三田文学会	178-227
雑誌					
特集「21世紀の洋書棚」 「生きる徴—Margaret Atwood, Oryx and Crake」		2007年5月	『英語青年』研究社、vol. 153		97-99
[紹介]のすすめ—Rey Chow, <i>The Protestant Ethnic & the Spirit of Capitalism.</i>) ∴		2007年11月	『英語青年』研究社、vol. 15		492-494
学会発表					
「20世紀アメリカ文学の政治学」にて「イメージを 創る-女の政治学」を発表	シンポジウム	2007年	日本アメリカ文学会 関西支部第51回支部大会 シンポジウム	京都大学	
“The Legacy of	シンポジウム	2008年	全米日系人歴史協会主催の日米合同シンポジウム	San Francisco	

Japanese Women: Past, Present & Future: US-Japan Women's Dialogue”にて”Two Encounters with Japanese Immigrants to the US”を発表					
「トウェインと資本主義」にて「再生への道のりー『あ の人は死んでいるの』」を発表	シンポジウム	2009年	日本マーク・トウェイン協会 2009年度シンポジウ ム	秋田大学	
「あめりか・いきものがたりー動物表象をめぐって」	シンポジウム	2011年	日本アメリカ文学会全国大会	関西大学	
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2007年～現在	日本アメリカ文学会関西支部評議委員				
2010年～	日本アメリカ文学会本部事務局				
2010年	日本マーク・トウェイン協会編集委員（2011年より編集委員長）				